

世界かんがい施設遺産の広報活動 と立梅用水が進める農村RMO

立梅用水土地改良区 山本 有紀



立梅用水土地改良区の概要



立梅用水土地改良区の位置、沿革等

南北に細長い三重県の中央に位置する松阪市飯南町及び多気郡多気町の1市1町の地域において用水施設の管理を行っている。

この地域は、一級河川櫛田川右岸の河岸段丘に位置しているが、河床が低いことから利水が極めて困難であった。江戸時代後期には地元地主(紀州藩の地侍)の西村彦左衛門らが用水の開発を発案し、住民の協力を得て上流部の粥見村(現松阪市飯南町)立梅地内に井堰を設けるとともに水路を開削し、約160HAの水田が拓かれたと伝えられている。

その後、井堰は度々の洪水により流失するたびに大改修がなされ、1921年(大正10年)に現在の位置に築造された。本土地改良区の前身である立梅井堰普通水利組合は、大正10年の井堰改修に際し、三重県共同電力会社(現在の中部電力株式会社)に非かんがい期間における発電用水としての土地改良施設利用を認める契約を締結し、この対価として堰堤改築や用水路の補修経費の支援を受けており、民間企業の資本を活用した先進事例の一つである。

戦後は、昭和27年に立梅井関普通水利組合から立梅用水土地改良区へ改組するとともに、昭和26年から平成7年まで計画的に隧道、石積み水路及び土羽水路27KM余りをコンクリート三面張り水路に改修し恒久的な施設としている。

管理施設の概要

井堰1箇所、発電共用区間水路4.1KM、幹線用水路21.8KM、松山支流1.0KM、分水ゲート約150箇所及び放水ゲート38箇所があり、井堰及び発電共用区間水路については中部電力株式会社に管理委託し、幹線用水路や松山支流等については本土地改良区が維持管理を行っている。維持管理体制は、大雨等の緊急時とかんがい時に大別され、緊急時(大雨等)の放水ゲート(38箇所)操作は用排水調整委員6名が担当し、かんがい時の分水ゲート(約150箇所)操作を用水専従員2名が担当し、適切に管理している。

立梅用水の概要

開設：1823年 文政6年

受益地：256ha

延長：28km

組合員数：585名

総代数：31名

役員数：理事12名 監事2名

(女性理事1名)

賦課金：5,500円/10a

(多面交付金：2700万円前後)



立梅用水の概要

用排水調整委員

70代



70代



60代



6名

70代



70代



70代



70代



専従員

2名

70代



職員数

3名



30代

事務局長
会計担当



60代

多面的機能支払
担当



これまでの流れ

1.江戸時代（後期）～防火水利・生活維持用水（洗い場）



紀州和歌山藩直属管理

2.明治時代～子ども教育（学校教育の一環）



立梅井堰普通水利組合管理(M38.3～)

3.大正時代～小水力発電開始（農業用水の企業との共同利用）



立梅井堰普通水利組合管理

4.昭和時代～小水力発電・防火水利・生活維持用水（洗い場）



立梅用水土地改良区管理(S27.5～)
県営かんがい排水事業

5.平成時代（前期）～防災・農村景観・教育・交流・生態系保全・歴史的遺産保全



地域用水機能増進事業（ソフト事業+補完ハード事業）
地域住民と立梅用水土地改良区の管理・活用

6.平成時代（後期）～①防災 ②小水力発電 ③生活維持 ④観光、地域活性化 ⑤教育、福祉
⑥農村環境保全 ⑦生態系保全 ⑧歴史的遺産保全 ⑨農村協働力、自治形成・・・9項目 多面的機能発揮

国登録記念物

世界かんがい施設遺産登録

世界かんがい施設遺産



世界かんがい施設遺産

自分の住んでいる
場所の魅力って？

それは他と
比べてどうですか？



山本 有紀 (32)

勢和村
多気町
大阪 美術の大学
特殊造形の会社勤務 (全国や海外)

Uターンで多気町へ

・
・
・

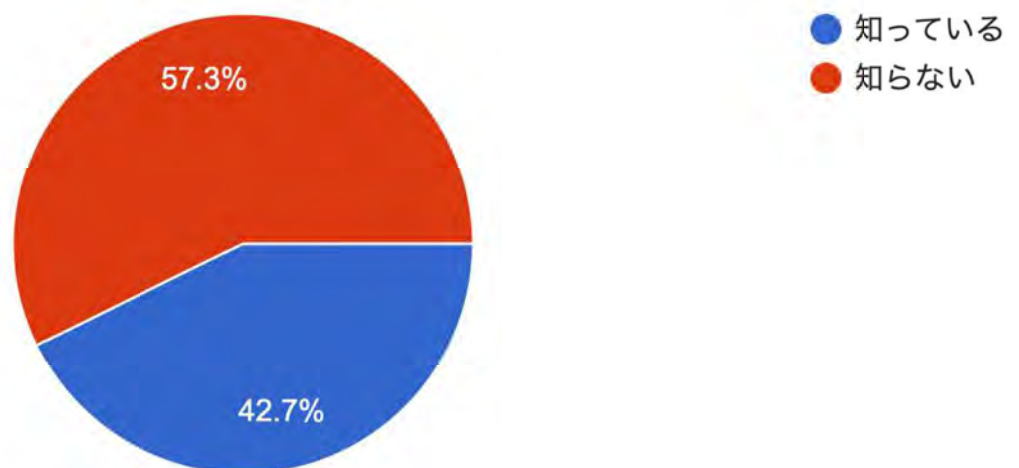
現在
土地改良区 職員

自分の住んでいる 場所の魅力って？

世界かんがい施設遺産 登録から10年 アンケート

「世界かんがい遺産」という言葉を知っていますか？

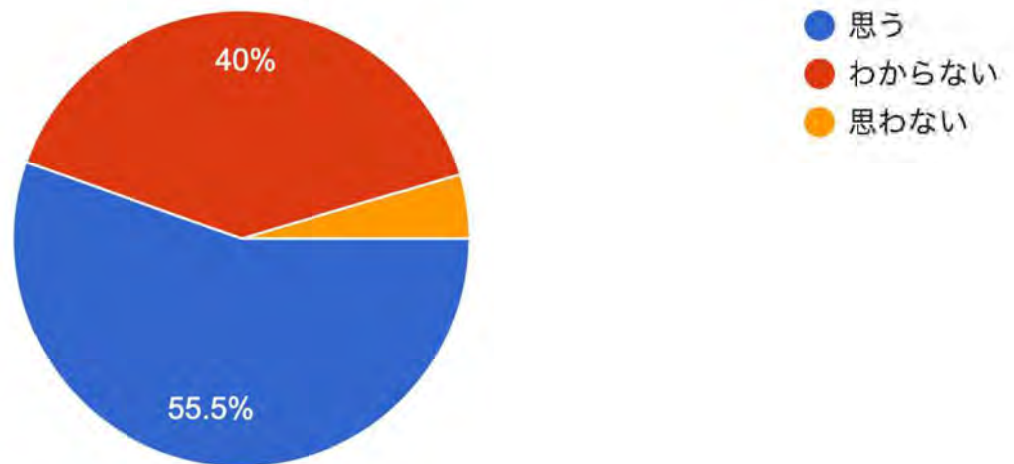
110 件の回答



世界かんがい施設遺産 登録から10年 アンケート

「世界かんがい遺産」が地域にあることを誇りに思いますか。

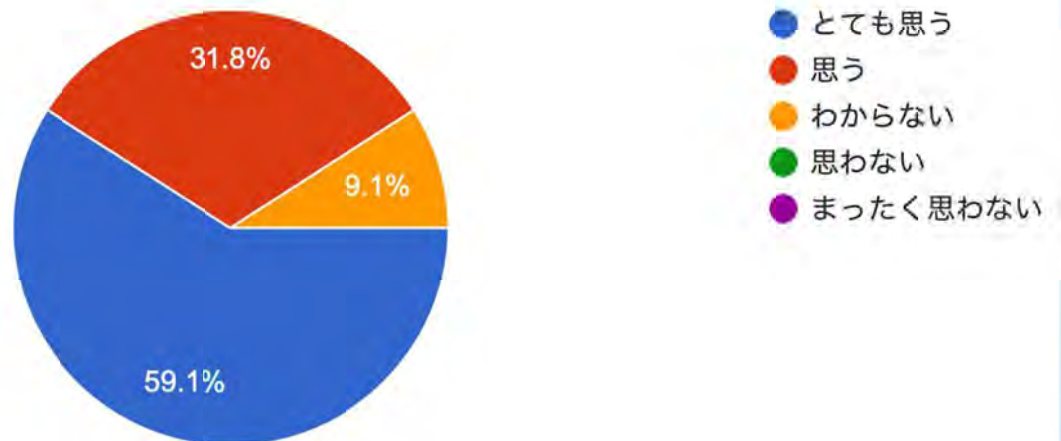
110 件の回答



世界かんがい施設遺産 登録から10年 アンケート

立梅用水は地域のためになっていると思いますか？

110 件の回答





立梅用水

多面的機能支払交付金



**多気町勢和地域
資源保全・活用協議会**

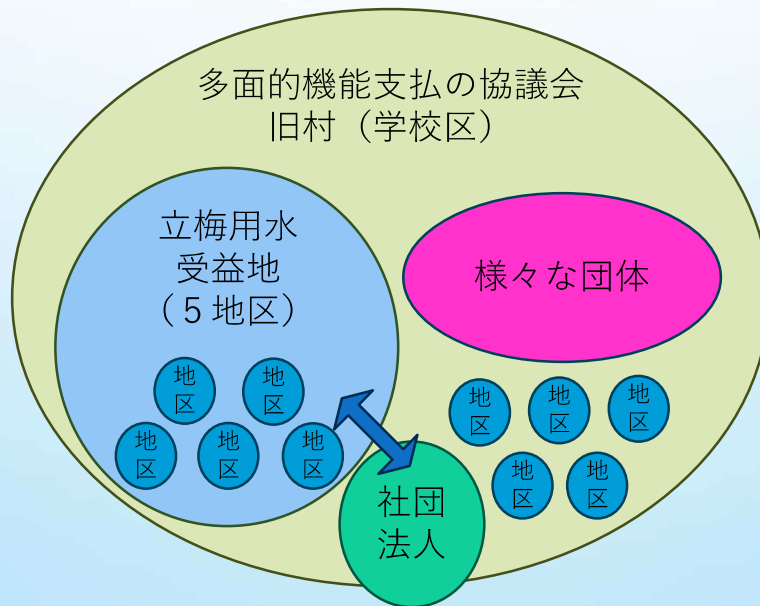
Seiwa Resource Conservation Utilization Council



ホームページ

立梅用水土地改良区と地域

協力・支援
団体



多面的機能支払交付金

農地維持支払交付金	資源向上支払交付金（共同活動）
【点検・計画策定】 施設点検 専門部会	【施設の軽微な補修】 機能診断 水路目地詰め 水路陥没復旧 技術研修
【研修】 研修会への参加 安全講習	【農村環境保全活動】 花の植栽 あじさいの手入れ 休耕田を活用した花の植栽 生きもの観察
【実践活動】 畦畔の草刈り 水路の泥上げ 農道の路面補修 ため池の草刈り	【多面的機能の増進を図る活動】 遊休農地の活用 消火訓練 農村体験 紙芝居
【地域資源の適切な保全管理のための推進活動】 有識者による研修会	資源向上支払交付金（長寿命化） 農道のコンクリート舗装 安全対策 安全対策 バリア交換 水路コルゲート管敷設

勢和ための会では、業者委託は1割程度。ほぼ直営作業で補修を行っています。

多面的機能支払交付金

学校教育との連携と遊休農地の活用～SOC S おまめさんかなあプロジェクト～

平成 26 年度から始まった SOC S おまめさんかなあプロジェクトは、勢和小学校、勢和図書館、多気町勢和地域資源保全・活用協議会が中心となり「次世代を担う子どもたちをのびのびとすこやかに育みたい」という想いで、立梅用水土地改良区、地元企業、農家、たくさんの地域の方と一緒に活動しています。また、核となるメンバーには地域のお母さんも参加してくれています。



おまめさんかなあプロジェクトでは、子どもたちと一緒に五感をたくさん使い、さつまいも、米、大豆を育てています。活動には、司書さんも参加するため、農業体験だけではなく本を通しての学びと体験を何度も繰り返すことによって、「生きる力」を身につけてもらいたいと考えています。おまめさんかなあプロジェクトは 10 年目を迎え、現在も、たくさんの笑顔と共に元気に活動しています！

今後の未来へ

1.江戸時代（後期）～防火水利・生活維持用水（洗い場）

紀州和歌山藩直属管理

2.明治時代～子ども教育（学校教育の一環）

立梅井堰普通水利組合管理(M38.3～)

3.大正時代～小水力発電開始（農業用水の企業との共同利用）

立梅井堰普通水利組合管理

4.昭和時代～小水力発電・防火水利・生活維持用水（洗い場）

立梅用水土地改良区管理(S27.5～)
県営かんがい排水事業

5.平成時代（前期）～防災・農村景観・教育・交流・生態系保全・歴史的遺産保全

地域用水機能増進事業（ソフト事業+補完ハード事業）
地域住民と立梅用水土地改良区の管理・活用

6.平成時代（後期）～①防災 ②小水力発電 ③生活維持 ④観光、地域活性化 ⑤教育、福祉
⑥農村環境保全 ⑦生態系保全 ⑧歴史的遺産保全 ⑨農村協働力、自治形成・・・9項目 多面的機能発揮

地域住民・多様な主体・土地改良区の協働

7.令和時代～選ばれる地域を目指して

世代交代・スマート農業・農村RMO

多面的機能支払交付金





立梅用水 の スマート農業